



喫煙ブースにも 完全水無消火がおすすめ

NEW EPパッケージ

ホール内の禁煙義務化に備え、喫煙ブースの設置が徐々に進むなか、水無消火ユニット「EPパッケージ」により、吸殻回収の手間を大幅に削減できます。



設置場所を選ばない
スタンド灰皿タイプ



最適デザインに対応する
特注テーブルタイプ



カウンター設置に適した
吸殻自動回収タイプ

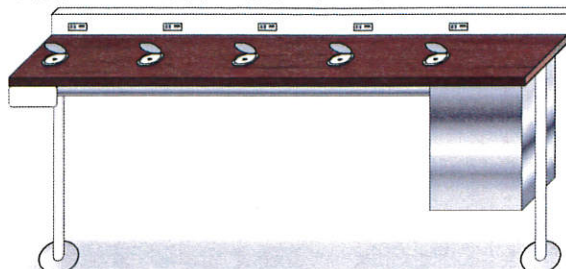


動画を配信中!

有限会社アメニックス
www.amenixjpn.com

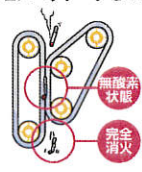
NEW
喫煙ブース向け水無消火ユニット『EPパッケージシリーズ』

●横幅2500mmで規格化した『喫煙カウンター』のイメージパース



灰皿、AC電源、USBポートが6つつ配置され、100V電源につなぐだけで吸殻回収、各端子が作動する。吸殻回収には水無消火ユニット「EPパッケージ」を採用しており、回収の手間を大幅に軽減する。今年春に大手コーヒーチェーンの店舗でフィールドテストが行われる予定です。

●EPパッケージとは



『EPパッケージ』は「押す」、「スラす」、「潰す」の3工程で吸殻を消火する。島に設置される吸殻回収システム「T.O.O.L」のオプションとしてすでに多くのホールに導入済み。この技術を用いた「スタンド灰皿タイプ」、「特注テーブルタイプ」、「吸殻自動回収タイプ」など、喫煙ブースに最適な製品も続々登場している。



消火の仕組みがすぐ分かる解説動画をYoutubeで公開中だ。これを見れば水無消火の安全性、吸殻処理の手軽さがお分かりいただけるだろう。是非自分の目で確かめてほしい。



徐々に設置が進む喫煙ブースに最適！
培った水無消火技術を活かす
今後の禁煙時代に活かす

（補）アメニックスが長年手掛けてきた、完全水無消火技術を用いた「EPパッケージ」が、深刻化する人手不足を解消するものとして改めて注目を集めている。需要が高まる喫煙ブース向けのシリーズ製品も続々リリースされている。

従来の水による吸殻の消火では、重量のあるタンクを一日に何回も回収し、さらに廃液の適正処理やタンクの洗浄もその都度行わなければならない、相当の労力と作業時間（コスト）を強いられてきたのが実情だ。

一方、水を使わない「EPパッケージ」は、消火する押圧ベルトと搬送する回転数の異なる流動ベルトの2つによる「押す」「スラす」「潰す」の3工程で約7秒間の無酸素状態にして完全に消火。これにより前述した水消火での問題をすべて解消する。

「EPパッケージ」の一番のメリットはスタッフの省力化。をにつながることで、手間のかかる廃液の処理や、吸殻と水の仕分け作業をする必要がなく、タンクに溜まった吸殻の回収は一日一回で済みますので、可燃ゴミとしてそのまま処理ができます。導入店からは、回収の手間が大幅に軽減でき、作業時間の短縮によって人件費削減



有限会社アメニックス
森本充彦代表取締役

減にも繋がったとの声を多数いただいています」と話すのは同社の森本充彦代表取締役。

同社ではこの独自の水無消火技術を用いた、設置場所に困らない「スタンド灰皿タイプ」、「ホールのイメージや雰囲気に合わせたデザインで対応する」「特注テーブルタイプ」、「カウンター設置に適した「吸殻自動回収タイプ」など、喫煙ブース向けの製品を続々とリリースしている。

さらに同社では近々、横幅2500mmをワンパッケージとして規格化することで導入コストを格段に抑えた「喫煙カウンター」の製品化を予定している。2500mmの中に水無消火ユニット「EPパッケージ」、灰皿、AC電源、USBポートが搭載されており、100V電源があればどこでも設置することが可能だ（上掲のイメージ図参照）。喫煙ブースの需要は今後ますます高まっていく。その中で、人手不足を解消し、環境にも優しい同社の水無消火技術を用いた製品群は今後の禁煙・分煙時代に欠かせないものになるだろう。